

令和6年度第3回タウンミーティング 地域課題及び要望事項 回答書 下里地区

	項目名	内 容	地区・場所	備 考	担 当	回 答
1	商業施設誘致について	下里地区には、コンビニエンスストアが2軒しかないため、マックスバリュ跡地にスーパーマーケットなどの商業施設の誘致をお願いしたい。	西笠原町マックスバリュ跡地		産業部 建設部	西笠原町マックスバリュ跡地への食品スーパー誘致に関しましては、令和3年の閉店以降、約3年に渡り地元自治会と協力して取組を進めていますが、現時点で明るい見通しが立っておりません。 食品スーパー誘致には、接道する道路の交通量が多いことと、店舗の商圈範囲内（食品スーパーの場合半径5km）の人口、特に実際の買い物客となる昼間人口の多さが重要だと考えます。地区の人口を維持するために、R4.10月に市街化調整区域の地区計画を決定し、近い将来の令和8年4月には、他市に先駆け誰もが住宅を建築できるよう厳しい建築規制がある市街化調整区域を廃止する予定です。昼間人口の増加については、市南部、特に山陽道加古川北ICや姫路市へアクセス至便な国道372号周辺での産業集積を可能にする取組によって実現したいと考えております。これについては、現在検討を進めております国道372号バイパスの早期整備が必須のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
2	商業施設誘致について	新設372号線バイパス沿いにショッピングセンターなどを開発・誘致をお願いしたい。（優遇税制などを含めて）	西笠原町372号線バイパス沿い		産業部 建設部	国道372号バイパス沿道は、ご指摘のとおり幹線道路ができることで商業施設立地の期待が高まります。商業施設の立地は、道路の交通量の多さと半径5km以内の人口、特に昼間人口の多さが重要で、その点でマックスバリュ跡地での誘致が苦戦しております。 近年では北条町東高室と中野町で食品スーパー、ドラッグストア等複合商業施設の進出が実現していますが、これは上記の道路交通量、昼間人口の条件に加え、まちづくり協議会を立ち上げられ市と共に誘致活動をしていただいた地元の熱意が企業に伝わった結果だと考えております。 需要創出に関する取組については、地元のお力が重要ですので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

3	道路整備について	剣坂野条線の拡幅工事について、毎年、要望の最優先課題にしてきました、「対象が県道である為に市独自で検討できない、県、国を含めて検討したい」という回答をもらったが、その後どうなっているのか?国道372号線のバイパスも着実に整備されつつある。滑走路のバイパス整備により、剣坂野条線の交通量が着実に増加しているのではないかと、不安を感じる。	野条町～段下町		建設部	市道剣坂野条線の拡幅については、下里地区の最重要課題であることは認識しております。 事業化にあたっては、多くの町を結ぶ主要幹線道路であり、「市の整備計画に基づく幹線道路改良工事の対象路線」と考えておりますが、路線全体の整備については、多大な費用が必要となってまいります。 特に、今後の学校再編を見据えながら通学路区間の整備を先行すべきと考えておりますので、引き続き検討を行ってまいります。 また、本年度、当路線の外側線L=1200mの引き直しを行うなど、可能な範囲ではありますが安全対策に努めてまいります。
4	道路整備について	372号線の工事の早期着工・完成をお願いしたい。	東笠原町～三口町		建設部	国道372号バイパスは県、市が両輪になり事業を進めております。現在はバイパスと市道との交差部分の安全対策のため、構造について詳細を詰めているところです。皆様のご期待に添えるよう鋭意取り組んでまいります。
5	通学路について	小中学生の通学路で、県道高砂北条線横断部に横断歩道設置が無理なら、代わりにグリーン塗装をして、目立つようにお願いしたい。横断部に歩道・横断歩道もなく、危険であるため。	段下町		建設部	グリーン塗装については、警察・県と協議いたしましたが、横断歩道がない場所での横断目的のグリーン塗装については、認められていないとの回答でありました。 通学路における危険箇所については、学校・警察・道路管理者が共同開催する「通学路合同点検箇所」に位置付けて、可能な対策について継続して協議してまいります。(校区PTAが学校へ進達→学校で精査→点検箇所の位置づけ→合同点検→対策検討→実施)
6	草刈支援について	市長の公約だった、草刈支援の詳しい内容を知りたい。			産業部	現在、来年度に向けて事業の検討中です。スマート草刈機の導入支援、草刈り作業人材の確保支援等の方策を検討しています。来年度予算に反映したいと考えています。

7	草刈について	市道・県道の草刈を年1回から年2回にしてほしい。草が伸びている期間が長く、景観が悪く、害虫の巣になりやすいため。	市内全域		建設部	市としても市道の除草は大きな課題であると思っています。昨年度と比較して2回除草する路線を増やしております。しかしながらご指摘のとおり、草の繁茂が著しく、その対応に苦慮している現状もございます。年2回の除草につきましては、通行量や景観的などの点を考慮しながら対応してまいりたいと考えております。
8	子育て支援	子育て支援のさらなる充実をお願いしたい。			政策部	加西市は「子育てしたいまち」を目標に、令和4年度より「子育て応援5つの無料化」をスタートしました。出生から高校卒業まで1人あたり約250万円規模の支援となり、これは明石市よりもさらに充実した内容であり、全国的にも優れた水準であると自負しています。また、経済的支援のほか、産後ケア、子育て相談、待機児童解消などにも積極的に取り組んでいます。そして、これらの施策が市民の皆様適切に認識されることではじめて充実した施策になると考えており、施策の理解と認知の拡大に向けて市内外でのプロモーションを積極的に展開しているところです。また、行政からの発信に比べ、市民の皆様からの口コミによる情報発信は非常に効果が大きいと感じています。加西市の子育て支援について、ぜひ一人でも多くの方にご紹介くださると嬉しく思います。
	当日意見	県道に通学路の横断歩道がつけられないとのことで、グリーンベルトを要望したが、それも幅員が狭いため着色できないとのことであった。ただ、朝夕はスピードを出して通行する車が多いので、今後スクールバスの乗降場所やルールをしっかりと決めていくことが小中学生の安全につながる。			建設部 教育委員会	通学路点検等を含め、継続して県と協議します。また、スクールバスについても、安全対策に十分配慮し、バス停となる場所を選定するとともに、乗降時のルールもしっかり定め、徹底していきます。
	当日意見	夏場の草刈りは、高齢化も進み、体力的にも厳しい。また、斜面やのり面の草刈りについても、高齢者が多くなり、安全面においても苦勞している。営農組合も人手不足となっており、スイングモアなどの機械補助をお願いしたい。			産業部	認定農業者と営農組合には機械補助を毎年予算化しており、トラクターに設置するモアも対象なので、ご活用ください。

	当日意見	県道玉野倉谷線の渋滞回避のため、朝の通学時に町内の細い道路を、スピードを上げて通行する車が多い。小学生が危険にさらされている。			建設部	渋滞について、交差点改良は現実的でなく難しいと判断します。また、信号のタイミング調整で右折車がたまらなくなることもあり、警察との調整をいたします。一方通行規制も考えられますが、お住いの方々が不便になり、まともなかったケースもあります。注意看板の設置に取り組みます。
	当日意見	ふるさと創造会議に、事務局的な役割をしてもらえる担当職員を配置してもらえないか。			地域部	ご要望を受け、現在制度設計に取り組んでいます。来年度以降、順次配置していきたいと思います。
	当日意見	「アスモ」に孫を連れて行ったが、いっぱい入れなかった。統合後の学校跡に子どもの遊び場を作れないか。			政策部 建設部	学校の跡地利用については、地域の皆様のご意見を聞きながら検討していきます。今のようなご意見をたくさんいただき、検討してまいります。
	当日意見	高齢の親が、免許返納して、バスの利用券をもらったが、コミバスも走ってないし、路線バスも少なく、使えない。			政策部	免許返納時は、タクシー無料券を配布しております。ご活用いただきたいと思います。